殿ヶ谷戸庭園

とのがやとていえん

開園　昭和 54 年（1979）4 月 1 日　　所在地　国分寺市南町 2-16

開園面積　21,123.59 ㎡（平成 27 年 7 月 1 日現在）

芝庭





紅葉

武蔵野の自然の地形、すなわち段丘の崖にできた谷を巧みに利用した「回遊式林泉庭園」で、崖の上の明るい芝生地と崖下の湧水池、樹林で雰囲気が一変する造園手法がみどころのひとつです。

ここは、大正 2 ～ 4 年（1913 ～ 1915）に実業家・江口定條（後の満鉄副総裁）の別荘として整備され、昭和 4 年（1929）には三菱財閥の岩崎家の別邸となりました。昭和 40 年代の開発計画に対し、本庭園を守る住民運動が発端となり、昭和 49 年に都が買収し、整備後、有料庭園として開園しました。

なお、庭園の名称は、国分寺村内に殿ヶ谷戸という地名があったことに由来します。

平成 23 年（2011）9 月、国指定の文化財（名勝）となりました。

東京都公文書館から一番近い庭園です。当館にお越しの際は是非行ってみてください。

画像及び文章素材提供：公益財団法人東京都公園協会